

〈研究主題〉

「主体的・対話的で深い学びを通して 教科のねらいに迫る授業づくり」

題材名 「カラフルウォーターパラダイス」

1 題材の目標

- それぞれの色から感じるイメージを基に、美しい色水の世界を表すことを楽しむ。
- 自分や友達が生み出した世界のよさに気付く。

2 題材について

本題材では透明な容器に入れた水に絵の具を入れて色水をつくり、できた色水を並べて色から感じるイメージの美しさを味わう内容である。児童は生み出された色の美しさを感じ、自分の表したいイメージをつくりだす色・濃さ・並べ方を工夫して表現していく。色水の特徴は光を通すことや色の変化を感じやすいこと、納得がいくまで何度も色づくりに挑戦できることである。

今回の活動を通じて様々な発想や工夫を肯定し、児童が自信をもって活動することのできる経験をさせることで、本課題やそれ以降の表現活動でも主体的に学習に取り組むことができるようになる。また、グループでできた色水を使って自分たちの思うすてきな世界をつくることを目指し、発想・構想したことをどんどん試行できる材料で、つくりだす喜びを味わい、友達と関わる楽しさやお互いのよさを感じられるようにしたい。

3 児童の実態

ものをつくるのが好きな児童が多く、図画工作も意欲的に取り組んでいる。しかし、参考作品や既製品の形に強く影響されたり、生活経験や造形経験が少ないために、自分の表したいことが思うように表現できなかったりすることがある。児童が自分自身の力で考え、試行錯誤しながら思いや考えを表現するためには、これまでの経験に加えてもの(材料等)や人(教師や友達)とのかかわりが重要な要素であると考えられる。ものや人の関わりを通して自分の思いを表現する楽しみを味わい、お互いのよさを感じとれるようにしたい。

4 主な活動と主体的・対話的で深い学びの取組

図画工作科の目指す児童像「自分の思いを表現することを楽しみ、お互いのよさを感じることができる子」

導入

- 色の重なりを見て色のイメージを考える。
- 色づくりの方法を知る。

〈導入の工夫〉

- 色見本を提示し、今までの経験や身の回りのものから様々なイメージがもてることに気付かせる。
- 互いの考えや意見を聞くことで、多様なイメージがあることに気付くようにする。

展開

- 水彩絵の具の特色を生かし、思い思いに色づくりを楽しむ。
- できた色水を使って自分たちの思うすてきな色水の世界をつくる。
- 班で題名をつける。

〈学習計画の工夫〉

- 納得がいくまで何度もやり直しのできる教材(色水)を提示する。

〈学習形態の工夫〉

- 友達との必要性があるかかわりが生まれるような教材の大きさ、机の配置、活動の様子がしやすい動線や環境の整備をする。

まとめ

- アピールポイントを書いて付箋で貼る。
- 自分なりのイメージや友達が生み出した色水の世界を味わい、伝え合う。

〈振り返りの工夫〉

- 自分がつくった作品で友達に紹介したい色や色の重なりアピールポイントを決めることを通して、自分の作品を振り返ることができるようにする。

## 5 本時案（全2時間中の1・2時間目）

- ねらい ・それぞれの色から感じるイメージを基に、美しい色水の世界を表すことを楽しむ。  
 ・自分や友達が生み出した世界のよさに気付く。

	学習内容・学習活動	<div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px; text-align: center;">主(主体的な学び)・対(対話的な学び)・深(深い学び)</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="background-color: #C8E6C9; padding: 5px; text-align: center;">具体的な児童の姿</div> <div style="text-align: center;">・留意点 ◇評価規準（評価方法）</div>
導入	<p><b>1 色のイメージを考える。</b>                      ○見た色のイメージを発表する。                      「暖かい感じ・冷たい感じ・明るい感じ・暗い感じ」 「春・夏・秋・冬」                      「色が増えるとイメージがしやすい」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色見本や12色相環図などを利用した、グラデーションの面白さにも気付くことができるようにする。</li> <li>透明グラスに事前に色水をつくったものを入れて、それを積んだものを見せ、色の重なりに興味をもたせる。</li> </ul> <div style="background-color: #FFCC80; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">色水ですてきな世界をつくってみよう</div>
展開	<p><b>2 色づくりの方法を知る。</b>                      ○濃淡・混色の方法を知る。                      ○絵具や道具の使い方を知る。</p> <p><b>3 活動内容（すてきな色水の世界づくり）を知る。</b>                      ○透明な容器でつくった色水を並べたり、重ねたりしながら、色から感じたイメージの世界をつくることを知る。</p> <p><b>4 見る・さわる・やってみる。</b>                      ○水彩絵の具の水溶性の特色を生かし、思い思いに様々な色づくりを楽しむ。                      ○透明容器に入れた色水を並べる・重ねる・組み合わせる・透かすなどして色合いの美しさや不思議さを味わう。                      ○班で1つの紙の上に作品を並べて題名を付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「色水を使って、自分がすてきなと思う世界をつくってみよう。」と提案する。</li> <li>色をより強く感じるために、白い養生の上で活動する。</li> </ul> <div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">主</div> <div style="background-color: #C8E6C9; padding: 5px; margin-top: 5px;">色水をつくり、並べる活動を通して豊かな表現活動を促すため、児童がイメージした色をつくるために必要な十分な量の材料を準備する。</div> <div style="background-color: #C8E6C9; padding: 5px; margin-top: 10px;">夢中になっていくつもの色水をつくり、色のイメージから並べることに興味をもって取り組んでいる。（作品・行動観察）</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動時間を十分に確保する。</li> <li>児童の感じたイメージに耳を傾け、その子なりの色の感じ方を大切にしていく。</li> </ul> <p>◇材料に積極的に関わり、色水による表現活動を楽しむ。（技・創/作品）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色を混ぜながら工夫して色水づくりを楽しめるような教師や友達からの共感的な言葉かけをする。</li> </ul> <div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">対</div> <div style="background-color: #C8E6C9; padding: 5px; margin-top: 5px;">友達との自然なかかわりが生まれるような机の配置や友達の活動の様子が見られるような動線、環境の整備をする。</div> <div style="background-color: #C8E6C9; padding: 5px; margin-top: 10px;">友達の活動の様子から自分の活動を広げている。（作品・行動観察）</div>
まとめ	<p><b>5 友達の作品を鑑賞する。</b>                      ○アピールポイントカードを書く。                      ○色から感じる自分なりのイメージや友達の生み出した色水の世界を味わう。                      ○発表                      ○全員で片付けをする。</p>	<div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">深</div> <div style="background-color: #C8E6C9; padding: 5px; margin-top: 5px;">それぞれが生み出した世界を味わう時間や、そこから感じるイメージを発表し合う時間を設ける。色の重なりから感じたことを発表し合う。</div> <div style="background-color: #C8E6C9; padding: 5px; margin-top: 10px;">鑑賞の時間で作品のアピールポイントを書いて自分を振り返り、友達のよさに気付いてカードを進んで書いている。（ワークシート）</div> <p>◇自分や友達がつくったものを見てよさに気付く。（学/カード・発表）</p>